

## 研究協力のお願ひ

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学病院 中央検査部

### 記

研究の名称	膵酵素エラスターゼ I とトリプシンの基準値の検証および臨床的有用性の評価
対象	2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの期間に血液検査をされた患者さんの残余血液を研究に利用いたします。本学では、300 例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2024 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：膵癌は日本国内における死亡率第 4 位の癌であり、早期発見が重要です。膵疾患関連検査として一般的に用いられている膵アミラーゼやリパーゼは、膵癌での陽性率が 30～40%と陽性率があまり高くありません。エラスターゼ I は他の検査項目に比べて、膵癌での陽性率が高いとされており、膵癌の早期発見に役立つことが期待できます。また、トリプシンは、他の膵酵素に比べ、膵炎での陽性率が高いとされており、急性膵炎の発見に役立つことが期待できます。本研究では、エラスターゼ I およびトリプシンの基準値を決定し、膵臓関連疾患での臨床的有用性を評価します。</p> <p>利用方法：患者さんの情報を、当院の診療記録から収集し、抽出した情報を基に統計解析を行います。抽出する診療情報は、診療情報と同様に厳重に管理され、個人を特定できる情報が漏れることはありません。研究結果は、個人を特定できないように対処したうえで、学会や学術誌で発表される予定です。本研究は日常診療を行った後に情報をまとめる形</p>

	<p>で行われる研究（観察研究）ですので、参加することによる直接的な利益や不利益はありません。また、本研究へ参加することで、新たに発生する自己負担はありませんし、謝礼金などありません。</p> <p>対象者の方（あるいは代理人）の申し出により、他の対象者等の個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究に関する資料を入手や閲覧できますので、ご希望される際は、下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。</p>	
<b>利用し、又は提供する試料・情報の項目</b>	<p>試料：血液</p> <p>情報：検査データ、診療記録等</p>	
<b>研究者名</b>		
<b>【研究責任者】</b>		
中央検査部	部長	大坂 直文
<b>【共同研究機関】</b>		
バイオ・サイエンス研究所	所長付	柏原 昌次
<b>参加拒否の申し出について</b>		
<p>ご自身の血液や診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。</p>		
<b>&lt;問い合わせ窓口&gt;</b>		
〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号		
大阪医科薬科大学病院 中央検査部		
担当者 牧 亜矢子		
連絡先 072-683-1221（代） 内線 3304		